

令和4年度 認知症施策の取組と実績について

令和5年3月末実績

1 普及啓発

事業	令和4年度の取組みと実績
認知症サポーターの養成 認知症に関する正しい知識や接し方等を学び、認知症の方とその家族を見守る応援者となる認知症サポーターを養成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民向けの他、行政職員、介護事業所職員、小中学生等に対する養成講座を開催 ・認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座の開催状況については「別紙」参照
世界アルツハイマーデー（9/21）及びアルツハイマー月間（9月）啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・9/20、21の2日間、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップ ・ふるさと広場の売店、市役所社会福祉センター、志津図書館、JR佐倉駅構内において、認知症の情報コーナーを設置し、啓発ポスターやリーフレットを展示・配架
認知症サポート医、認知症専門医による普及啓発 講座等を通じ、地域住民や認知症の人の家族、介護サービス関係者等に認知症の正しい知識の普及をはかります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症を学ぶ地域講座 認知症の人と家族を支える～大変なのは本人だけじゃない～」 令和5年3月30日（木）13:30～16:00 講師：さくら風の村訪問診療所 院長 三嶋 泰之先生 会場：ミレニアムセンター佐倉 参加者：45名

2 予防

事業	令和4年度の取組みと実績
脳とからだの元気力測定会 早期から認知症の症状や発症リスクについての知識を学び、自身の認知機能を把握することで、生活習慣の改善、社会参加、適切な医療受診などへの主体的な取組みを促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・エーザイ（株）が提供する、オンラインデジタルツール「のう KNOW」を使用し、対象者がパソコン等の端末を操作することにより、脳の健康度をセルフチェックするもの。 画面に表示されたトランプの絵柄を見て、色やマークを識別してキーボードのキーを押すことにより回答。反応速度や正答率から、脳の健康度（脳年齢、記憶力スコア、集中力スコア）を測定する。スマホやタブレットを用いて自宅での測定も可能。 ・実施者 延 173 人（会場 156 人、自宅等 17 人）

	<ul style="list-style-type: none"> ・被験者の年齢 35歳～92歳 <li style="padding-left: 20px;">性別 男性 49人 女性 124人
--	--

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

事業	令和4年度の取り組みと実績
<p>物忘れ相談</p> <p>物忘れや認知症についての不安があるかた及びその家族を対象に、専門医等による物忘れ相談を実施します。受診の必要性を判断し、軽度認知障害（MCI）の早期発見により、認知症予防の支援につなげます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：10回 ・相談者数：35件 ・結果 受診勧奨：19件 経過観察：8件
<p>認知症初期集中支援チームの活動</p> <p>認知症が疑われる人や認知症の人で、医療受診や介護サービスを受けていない人を対象に、各地域包括支援センター内の「認知症初期集中支援チーム」と認知症サポート医による初動対応を包括的・集中的に行い、家族負担の軽減と在宅生活継続への支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期集中支援新規対象者 25人 ・訪問・チーム員会議の件数と処遇については（別紙2）参照
<p>多職種連携研修</p> <p>多職種で認知症の方と家族を支えるためのネットワークづくりを推進するための研修を開催し、認知症ケアの向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携・認知症推進事業合同研修 「その人らしい生活を支えるための医療・介護の連携」 令和5年1月20日（金）19：00～20：30 講師：宍戸内科医院 院長 宍戸 英樹先生 会場：佐倉市役所とオンラインのハイブリッド方式 参加人数：68人（会場11人、オンライン57人） 参加者の内訳：医師・歯科医師7人、薬剤師26人、 看護師・保健師9人、ケアマネジャー12人、 社会福祉士・介護福祉士9人、その他5人

<p>認知症カフェ（オレンジカフェ） 認知症の方と家族、地域住民、専門職が集う「認知症カフェ」を開設し、認知症の人を支えるつながりと、認知症の方の家族の介護負担の軽減を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内5か所に開設（地域包括支援センター委託5か所） 開催回数：58回 参加延人数：764人 （内訳 当事者217人、家族168人、一般111人、ボランティア268人） ・認知症カフェを拠点とした見守り活動を実施 電話、訪問による見守り活動（個別相談支援）14件
<p>家族介護支援事業 （介護者教室・介護者のつどい） 介護方法の紹介・指導及び要介護者を現に介護する者等への支援を行い、介護者の負担の軽減を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室 開催回数：20回 参加延人数：287人 ・介護者のつどい 開催回数：36回 参加延人数：206人

4 認知症バリアフリーの推進

事業	令和4年度の取り組みと実績
<p>認知症高齢者声かけ訓練の実施 認知症の高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の見守り支援体制を整えるため、地域の公園や集会所等において、道に迷っている認知症高齢者への声かけや各所への連絡、連携の現地訓練を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：4回 ユーカリが丘1丁目自治会 参加人数 40人 井野小学校区まちづくり協議会 参加人数 34人 根郷地区社会福祉協議会 参加人数 24人 中志津自治会（志津南地区社会福祉協議会 共催） 参加人数 37名
<p>チームオレンジの整備 ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（チームオレンジ）を構築します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 20人 ・チームオレンジ交流会 1回 25人 ・チームオレンジの登録者数 51人 ・チームオレンジ設置数 1か所 チームオレンジの活動については「別紙」参照
<p>高齢者の虐待防止 地域のネットワークを活用して高齢者虐待の早期発見に努め、高齢者及び養護者に対して、適切な支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における見守り意識の高揚を図り、関係機関と連携した様々な支援・対応を実施 ・高齢者虐待通報件数 115件 ・高齢者虐待認定件数 21件 （うち分離件数 10件）

<p>2市1町SOSネットワーク</p> <p>佐倉市・八街市・酒々井町・警察署・消防組合・防犯組合連合会による連絡協議会を組織し、認知症高齢者等が行方不明になった場合に、FAXや防災無線等を利用して捜索への協力を呼びかけます。また、GPSを利用した位置情報検索システムの端末購入費用の助成や、行方不明となるおそれのある高齢者等に対し、身元確認のできる「SOSステッカー」の交付を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捜索回数 34回 (うち佐倉市民 14件) ・ GPS 端末初期費用助成 1件 ・ SOS ステッカー交付(市内) 44人 (交付延べ人数 313人)
<p>成年後見制度利用支援</p> <p>成年後見制度に関する相談対応、普及啓発活動を行います。</p> <p>成年後見制度を利用するための費用の一部を助成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐倉市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、中核機関(佐倉市成年後見支援センター)が主軸となり、制度利用に係る相談支援、普及啓発活動、後見人の支援等を実施 ・ 成年後見支援センター相談総件数 564件 ・ 成年後見等開始審判請求費用助成件数 0件 ・ 成年後見人等報酬費用助成件数高齢者 24件
<p>成年後見審判請求事務</p> <p>成年後見制度の利用が必要にも関わらず、親族による申立が期待できない高齢者について、市長による成年後見等開始審判請求を行います。</p>	<p>成年後見等開始審判請求数</p> <p>高齢者 15件(市長申立数)</p>